

令和3年8月定例教育委員会会議録

- 1. 開催日時 令和3年8月25日（水） 8時58分～11時24分
- 2. 開催場所 日野町役場 401・402会議室
- 3. 出席委員 安田 寛次教育長、谷 信代教育長職務代理者
西村 吉弘委員、吉澤 正義委員、神川 貴子委員
- 4. 出席事務局員 教 育 次 長：宇田 達夫
 学校 教育 課：参事 吉村 俊哲 参事 小椋 慶洋
 生涯 学 習 課：課長 吉澤 増穂
 函 書 館：館長 長谷川 毅
 子ども支援課：課長 柴田 和英

安田 教育長	<p>日程1 開会</p> <p>皆さん、おはようございます。日野町教育委員会定例会を開催させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p>日程2 教育長あいさつ</p> <p>(教育長あいさつ)</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程3 前回議事録の報告</p> <p>本日の定例会を議事日程に基づいて進行していきたいと思ひます。</p> <p>日程3の前回委員会の議事録の報告につきましては、お手元に配付の議事録のとおりでございます。委員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いしたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程4 経過報告</p> <p>続きまして、日程4の経過報告に移りたいと思ひます。</p> <p>(経過報告)</p>
安田 教育長	<p>それでは、ただいまの経過報告につきまして、ご質問などございます</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>か。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、ないようでございますので、議事に入っていきたいと思 います。</p> <p>~~~~~</p>
<p>安田 教育長</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程5 議第32号 令和3年度日野町一般会計補正予算(第4号) (教育費)について</p> </div>
<p>安田 教育長</p>	<p>日程5の議事に入りたいと思います。</p> <p>「議第32号 令和3年度日野町一般会計補正予算(第4号)(教育 費)について」を議題とします。</p> <p>事務局から提案説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(提案説明)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ありがとうございました。ひとつおり提案説明をさせていただきました。 提案説明に対しまして、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>ただいまご説明をいただきまして、大変細かい部分と言いますか、行 き届いたところで補正をあげていただいて、ありがたいと思っております。</p> <p>単純な質問で恐縮ですが、積立金でございます。教育施設整備基金積 立金、これは歳出で、これだけの金額は積立金ということで、お金の出 ない歳出であるということになるわけですね。歳入の部でございます繰 入金の基金繰入金、これは積立金の取り崩しの分がこちらにあがって くるという理解でよろしいのでしょうか。実際、前にもそういう予算があ がっていたことがあったのですが、仕組みとして理解できないので教え てください。</p>
<p>宇田 次長</p>	<p>例えば10ページの繰入金、補正額は△4億7,306万7,000円とあり ますが、これは予算の中では4億9,395万3,000円取り崩しをしよう と思っていたけども、そのうち4億7,306万7,000円は取り崩しをしない でおこうということです。</p>

西村 委員	<p>そういうことですね。これは今回審議する内容とは関係ないのですが、積立金を取り崩す時の予算は、歳入の 19 款繰入金のプラスの金額としてあがってくるということですね。わかりました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
安田 教育長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>それでは、ほかにご質問や意見もないようでございますので、承認することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
安田 教育長	<p>それでは、「議第 3 2 号 令和 3 年度日野町一般会計補正予算（第 4 号）（教育費）について」を承認することとします。</p> <p>~~~~~</p>
安田 教育長	<p>日程 6 今後の予定</p> <p>それでは、一旦議事を終了しまして、日程 6 今後の予定に移りたいと思います。学校教育課から順次説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(説明)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。今後の予定について一括して説明をいただきましたが、ご質問、ご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございました。それでは、今後の予定については終わりにしたいと思います。</p> <p>それでは、ここで暫時休憩としたいと思います。</p> <p>(休憩)</p>
安田 教育長	<p>それでは、再開したいと思います。</p>

<p>安田 教育長</p>	<p style="text-align: center;">~~~~~</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程 7 議第 33 号 令和 4 年度使用中学校教科用図書（歴史）および小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について</p> </div> <p>日程 7 の議事に入ります。</p> <p>「議第 33 号 令和 4 年度使用中学校教科用図書（歴史）および小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」を議題とします。</p> <p>教科ごとに事務局から提案説明をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>中学校歴史 『中学社会 歴史的分野』 日本文教出版</p> </div> <p style="text-align: center;">（提案説明）</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ありがとうございました。提案説明に対しまして、ご質問などございませんでしょうか。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>それぞれ 6 つのポイントに基づいてご検討いただいたということですが、図書の内容というのは出版社によって、力点の置き方とか、こういうところに力を入れているとか、それぞれ特徴があるのではないかと思うのですが、学習指導要領に基づいて作られていて検定に合格しているという、その点のところでもう、どの教科書においても内容については一緒だという見方をされているのですか。その辺はどうなんでしょうか。いろいろ力点の置き方とかありますね。そういうところに関しては、評価をいただく先生方のご意見も多種多様かもわからないけれども、そうしたところのコンセンサスというのはどのように得ておられるのかということをお教えください。</p>
<p>小椋 参事</p>	<p>おっしゃいましたように、文科省の検定を通過したという時点で、一定の基準はクリアしているということなので、その本が採択されても問題はないだろうという前提のもとに調査が行われているということです。</p> <p>それから、各社によりまして、近現代史にすごく力を入れているところがあったり、古代史に力を入れていたりとか、会社によって取り上げているコラム内容等に特色があるのは確かだと思います。</p>

安田 教育長	<p>最初に申しあげましたように、できるだけ客観的な評価ができるように、子どもたちにとって学習がしやすいものであるか、また、子どもたちがそれを使って自主的にどんどん学習を進めていきやすいものかというところで評価をしようということになっております。</p> <p>よろしいですか。</p>
西村 委員	<p>ありがとうございます。私が思いますのは、各分野における研究を通じて、過去の定説が科学的に検証されて、新しい説に塗り替えられていくということもありますから、歴史の分野においても科学的な見方によってそのことが重要視されているかどうか、中身を検討していくうえで大変重要なことではないかという思いがするわけです。</p> <p>最終的には、第3地区で決定していただいた結論については賛成でございます。</p>
安田 教育長	<p>ほかございませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>それでは、ないようでございますので、第3地区協議会の選定を受けまして、日本文教出版が発行しております現行本を令和4年度についても採択していくということについて、承認することに賛成の方の挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>(挙手全員)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございました。挙手全員ということで、日本文教出版の現行本を採択するという事で決定いたしました。</p> <p>~~~~~</p>
<p>小学校特別支援学級 理科</p> <p>『はっけんずかん むし 新版』学研 『はっけんずかん しょくぶつ』学研 『絵本図鑑シリーズ やさいのずかん』岩崎書店 『改訂新版体験を広げることものずかん⑧あそびのずかん』 ひかりのくに</p>	

『絵本図鑑シリーズ12 のはらのずかん 野の花と虫たち』

岩崎書店

(提案説明)

安田 教育長

ありがとうございます。提案が2つあったかと思います。小学校の理科について、3冊供給不能ということで新たに5冊になります。4冊であったものについては6冊で検討をいただいたところと、もう1つは学年の枠を取り払いまして、3年生～6年生の子どもたちを対象にしていこうということです。皆さんからご質問やご意見がありましたら、お出しいただきたいと思います。

西村 委員

3年から6年までということですが、実際現場では、例えば年次ごとに、今年はこれですよ、来年はこれですよという形になるのですか。

理科の中で、植物を中心とするものもあれば、動物に関わるものもありますね。どのように進めていかれるのですか。

小椋 参事

知的障がい学級の教科用図書については、まずその学年相当の教育内容を学習しなければならないという枠がそもそもありません。6年生のお子さんが小学2年生の算数の内容を勉強していることは、全く問題ないのです。

一般的には、一般図書という教科書を選ばれる保護者の方はほとんどいらっしゃいません。というのは、特別支援学校相当のお子さん、特別支援学校で学ぶのが本来なら適切だろうという知的障がいの程度のお子さんが、みんながもらっている教科書で学習するのは難しいから、特別支援学校相当だというふうに学校も保護者も考えておられて、普通の教科書では難しいから、この教科書を無償供与の本として選ぶということになりますので、まずそれが前提です。

かといって、今まで枠があったものがなくなりますと、現場の先生方もどういうふうを選んだらいいのかということは多少戸惑われるかも知れませんので、一応、旧来は「モンシロチョウ」は3年生に扱われていました、「春夏秋冬」は4年生がいいかなというふうな、昨年度まではそうしていたけれども、今度からそのお子さんに応じて、虫に興味があるお子さんならまずそこから始めてもらって、翌年はまた違う教科書にいくというふうに、そのお子さんに応じて対応できるようにということで採択できたらなという考え方でござい

	ます。
安田 教育長	子どもさんの「個」に応じて、どの本にしようか選ぶということですね。
小椋 参事	3年生の時に虫の本を無償供与を受けて、4年生で植物の本を供与を受けたとして、4年生になってまた虫の本と植物の本と両方使って勉強しても構いませんし、逆の順番でもいいですし、5年生になっても虫の本と植物の本と野菜の図鑑とあわせて勉強してもいいというふうに、そのお子さんの発達の状況に応じて使っていくということになります。
安田 教育長	1年に1冊ずつということですか。
小椋 参事	無償供与されるのは1冊ということですか。もちろん、図書室にある普通の本なども学習の素材としては使えますので、あくまでも国から無償供与される本として採択のリストにあがる候補としてこれを選びますということですか。
安田 教育長	よろしいですか。
西村 委員	わかりました。それから、これらの教科書自体は教室に置いたままになるのですか。
小椋 参事	恐らく教室に置いておかれることになります。特別支援学級のお子さんは、全部の教科書を持って帰って持って来てということをしていない子どもが多いです。
西村 委員	保護者の方は、見ようと思っても見られないわけですね、学校に置いたままだったら。
小椋 参事	そうですね。
安田 教育長	そこは、保護者の方にも何らかの形でお見せできるような場を設けていかなければならないですね。

西村 委員	<p>どういふことを勉強しているのかわからない、学校は学校でやっているが、家は全然知らないというのもどうかと思います。</p>
谷 委員	<p>特別支援に在籍していた子どもを持っている保護者としては、一般の児童生徒の皆さんよりも学校に何う頻度はすごく高いので、担任の先生とのやり取りとか、毎日の連絡帳なり、一日こう過ごしていましたというように事細かく、綿密な対応をしていただけているので、教科書を見る機会も、今日はこの教科書でこんなことをしていましたということはわかっていますので、普通のお子さんよりは学校で子どもがこうしている、ああしているということはよくよくわかっていたと思います。</p>
西村 委員	<p>今おっしゃっていただいたので、よくわかりました。理解できました。</p>
安田 教育長	<p>ほかに皆さん、よろしいですか。</p> <p>(なし)</p>
安田 教育長	<p>それでは、ないようでございますので、まずは小学校3年生から6年生の理科、小学校特別支援学級の教科用図書として、今提案させていただきました内容について、第3地区の決定どおり日野町においてもこの図書を採択するという事について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手全員)</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。挙手全員ということで、次に進んでいきたいと思ひます。</p>
~~~~~	
<p><b>小学校特別支援学級 算数</b></p> <p><b>『さんすう☆』教育出版</b></p> <p><b>『さんすう☆☆(1)(2)』教育出版</b></p> <p>(提案説明)</p>	

安田 教育長	<p>ありがとうございます。先ほどの理科と同じように、提案が2つあったと思います。『さんすう☆』と『さんすう☆☆（1）（2）』の2冊を新たに新規選定ということと、もう1つは、1年生から6年生という学年の枠を取り払うというような内容だったと思いますけれども、皆さんからご意見、ご質問はございますか。</p> <p>私から質問させていただきますが、『さんすう☆☆（1）（2）』というのは、俗にいう（上）（下）みたいな形のお渡しの仕方になるのですか。</p>
小椋 参事	<p>分冊みたいになっているので、その2冊で1冊という考え方だと思います。</p>
安田 教育長	<p>同時に渡してということですね。</p>
小椋 参事	<p>はい。</p>
安田 教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>（なし）</p>
安田 教育長	<p>それでは、ご意見、ご質問がないようでございますので、第3地区の採択の内容についてご承認いただけるということでよろしいでしょうか。賛成の方の挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>（挙手全員）</p>
安田 教育長	<p>挙手全員ということで、決定しました。ありがとうございます。</p> <p>~~~~~</p>
	<p><b>小学校特別支援学級 音楽</b> 『おんがく☆』東京書籍  『おんがく☆☆』東京書籍  『おんがく☆☆☆』東京書籍</p> <p>（提案説明）</p>
安田 教育長	<p>ありがとうございます。小学校の音楽ということで、提案がございました。新たに『おんがく☆』『おんがく☆☆』『おんがく☆☆☆』</p>

<p>小椋 参事</p>	<p>と、1年生から6年生の使用という形にしていこうという提案でございました。いかがでしょうか、皆さんからご質問等ありましたらお出してください。</p> <p>追加でお願いします。今、理科・算数・音楽とご説明申し上げましたが、先ほど来説明しておりますように、今回新たに選定のない教科につきましても、1年生から6年生の使用学年の枠、3年生から6年生の使用学年の枠をすべて取り払って、別表1-2の案のような形で使用させていただけたらと思いますので、あわせてお願いしたいと思います。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>提案説明が付け加えられましたので、そのことについてもよろしくお願ひしたいと思ひます。いかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>では、事務局から提案させていただいたとおり賛成いただける方については挙手をお願いしたいと思ひます。</p> <p>(挙手全員)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>全員賛成ということで、ありがとうございます。小学校はこれで終わります。</p> <p>~~~~~</p>
<p>安田 教育長</p>	<p><b>中学校特別支援学級 社会</b></p> <p><b>『るるぶ都道府県大百科』 JTBパブリッシング</b></p> <p>(提案説明)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ありがとうございます。中学校の特別支援学級での教科用図書ということでの提案でした。提案が3つあったと思ひます。</p> <p>1つは、社会の『にっぽん探検大図鑑 NIPPON-PAL』が供給不能になることによって、『るるぶ都道府県大百科』を採択してはどうかということ。2つは、学年の枠を取り払って、使用学年を1年生から3年生に広げていこうということ。3つ目が、『るるぶ都道府県大</p>

<p>西村 委員</p>	<p>百科』が供給不能となった場合は、次点としてあげていこうという内容ではないかなと思います。皆さんからご意見、ご質問を出していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>次点ということですが、『日本地理』は説明が詳しいところはよいのですけれども、統計の部分が2007年とか古いので、これはものすごく気になりますね。そうであっても次点ということになるのかな。その点が判断の基準としては、いろいろご審議いただいた結果ですから受け入れますけれども、それはちょっと疑問に思いますね。</p> <p>数値的なものは年々変化があるので、古いとその辺どうかなという思いがかなり私は強いのですけれども、それは私の意見です。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>供給不能にならないことを願うばかりですね。確かにデータが古いのは気になりますね。</p>
<p>小椋 参事</p>	<p>また他教科についても、これ1冊だけというところはまた供給不能の心配が出てきますので、来年度以降、徐々に選択できる幅を広げていこうという方向で考えていきたいということが協議会の議論の結果です。</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>ほか、よろしいでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>それでは、ないようでございますので、中学校の特別支援学級の教科用図書についての提案ですが、承認することに賛成の方の挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>(挙手全員)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>挙手全員です。ありがとうございました。</p> <p>それでは、すべての教科用図書の審議が終了しました。長時間大変慎重にご協議をいただきまして、ありがとうございました。提案させていただきましたすべての教科書について、令和4年度から使用することをご承認いただいたところでございます。ありがとうございました。</p>

<p>安田 教育長</p>	<p>以上で、「議第33号 令和4年度使用中学校教科用図書（歴史）および小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」の審議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程8 その他</b></p> <p>続きまして、日程8のその他に移りたいと思います。担当から順次説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(説明)</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程9 閉会</b></p> <p>以上をもちまして8月定例会を終了させていただきます。長時間にわたりましてご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>
<p>安田 教育長</p>	<p>以上をもちまして8月定例会を終了させていただきます。長時間にわたりましてご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>